

金沢ハイキングクラブで出前講座「地図読み教室」を開催しました

12月27日(日)に、金沢市長土塀交流館において、金沢ハイキングクラブ約50名を対象に、「地図読み教室」と題した出前講座を行いました。

これは「地図の読み方」「コンパスの使い方」を教えてほしいという金沢ハイキングクラブの要請を受けて行ったもので、松崎次長が講師を務めました。講座では「等高線から地形を読む」「地形図から傾斜を読む」「登山で注意する地形」「山でよく見る地図記号」「コンパスの使い方」「尾根と沢の地性線を描く」等の講演と実習を行いました。



講義風景

金沢ハイキングクラブは1981年9月に結成され、金沢を中心に活動しているクラブです。現在50代～60代の方が中心ですが、登山を中心に活動していることもあり、会員の皆さんがはつらつとしていました。また、定例会議を拝見しても、自然を楽しみ、自然を愛する、良いハイキングクラブだと感じました。

最後に、新たな登山道の情報提供をお願いし、約2時間の講演を終了いたしました。

最後に、新たな登山道の情報提供をお願いし、約2時間の講演を終了いたしました。

平成21年度市区町村別面積数値の公表を行いました

平成21年10月1日現在の日本国土の面積をとりまとめた平成21年全国都道府県市区町村別の面積を1月18日に公表しました。とりまとめの結果、国土の面積は埋立等により1年間（平成20年10月2日～平成21年10月1日）で2.94km²増加し、377,946.51km²になりました。

全国で増加面積が大きい都道府県は、青森県の725.70km²、次いで秋田県の201.97km²ですが、

北陸で面積の大きい市区町村上位10位

平成21年10月1日現在

順位	県	市区町村	面積(km ²)	参考値(km ²)
1	富山県	富山市	境界未定	*1241.85
2	新潟県	村上市	境界未定	*1174.24
3	新潟県	上越市	973.54	
4	新潟県	阿賀町	952.88	
5	新潟県	魚沼市	946.93	
6	福井県	大野市	872.30	
7	新潟県	佐渡市	855.30	
8	新潟県	長岡市	境界未定	*840.88
9	石川県	白山市	755.17	
10	新潟県	糸魚川市	境界未定	*746.24

*参考値とは、境界未定の市区町村について総務省発行「全国市町村要覧平成21年版」による便宜上の概算数値です。

北陸で面積の小さい市区町村上位10位

平成21年10月1日現在

順位	県	市区町村	面積(km ²)	参考値(km ²)
1	富山県	舟橋村	3.47	
2	新潟県	粟島浦村	9.86	
3	石川県	野々市町	13.56	
4	石川県	川北町	14.76	
5	石川県	内灘町	20.38	
6	新潟県	弥彦村	25.16	
7	新潟県	刈羽村	26.28	
8	新潟県	田上町	31.77	
9	新潟県	新潟市中央区	37.42	
10	新潟県	聖籠町	37.99	

両県とも境界確定による増加であり、埋立等で最も増加面積が大きいのは、長崎県の0.57km²になります。

北陸地方で増加面積が最も大きい県は、新潟県の0.25km²（全体5位、埋立等の増加全体3位）、次いで福井県0.05km²、富山県、石川県については、0.04km²の増加となっています。北陸地方全体では、0.38km²〔東京ドーム(0.047km²)約8個分〕増加しました。

全国で最も面積が増加した市区町村は、青森県十和田市の境界確定による725.67km²です。今回、大きな増加が見られた市区町村は、県別面積と同様に、境界未定地域の境界確定等に伴う増加が大半を占めています。

北陸地方で最も増加した市区町村は、新潟県上越市で、直江津港等の埋立による増加面積0.22km²（全国18位）によるものです。

基盤地図情報活用推進セミナーが開催されました

2月24日、上越市の上越文化会館を会場として上越地域活性化機構（略称：ORJA）及び全国 GIS 技術研究会（関東甲信越 GIS 技術研究会）が主催する「基盤地図情報活用推進セミナー」が開催されました。

当日は定員80名を上回る参加者があり、講演や事例紹介が行われ活気に満ちたセミナーとなりました。セミナーの副題「基盤地図情報とは！その活用がもたらす効果とめざす将来像とは！」が示すとおり、地理空間情報活用推進基本法に基づき整備が進められている基盤地図情報の利活用をテーマとしたものです。セミナーの詳細については、主催した NPO 法人にお問い合わせください。

国土地理院地理空間情報部基盤地図情報課の出口課長補佐が「基盤地図情報活用推進によるめざす社会の将来像」と題した基調講演、続いて、大妻女子大学人間関係学部人間関係学科の干川教授が「災害ボランティア活動における基盤地図情報活用について」と題した特別講演を行いました。

基盤地図情報活用の事例紹介は、「世界へ情報発信 糸魚川ジオパーク」と題して「にいがた GIS 協議会」の浅田氏、「妙高市除雪管理支援システム『イチしるべ』」と題し、くびき野地理空間情報センターの小島氏が説明を行いました。

昨年の11月17日に富山市で開催された「地理空間情報の活用推進に関する北陸地方産学官連絡会議」を受けて、このような有意義なセミナーが開催されたことは、今後の基盤地図情報の活用推進に向けた大きな契機となるものです。



熱心に聞き入るセミナー参加者



吉池北陸地方測量部長の挨拶



出口課長補佐 基調講演



干川教授 特別講演

平成22年測量士・測量士補試験について

平成22年5月23日(日)全国の14都市において、平成22年測量士・測量士補試験を実施します。

北陸地方の試験地は、新潟県・富山県、近隣では東京都、愛知県、大阪府などで行われます。(※受験願書の受付は、2月26日で終了しました。)

昨年の受験者数は、新潟県試験場では測量士118名・測量士補351名、富山県試験場では測量士123名・測量士補477名でした。

試験科目は、測量士試験「①測量に関する法規及びこれに関する国際条約、②多角測量、③汎用地球測位システム測量、④水準測量、⑤地形測量、⑥写真測量、⑦地図編集、⑧応用測量、⑨地理情報システム」、測量士補試験「①測量に関する法規、②多角測量、③汎用地球測位システム測量、④水準測量、⑤地形測量、⑥写真測量、⑦地図編集、⑧応用測量」です。

合格発表は、平成22年7月23日(金)を予定しており、国土地理院本院、各地方測量部及び支所において合格者の氏名を公告するほか、全受験者あてに試験の結果(合否)を通知します。また、国土地理院のホームページ上に合格者の受験番号、標準的な解答及び合格基準を掲載します。

国土地理院のシンボルマークと新しい英語名が決定しました

国土地理院は、前身機関の庶務司戸籍地図掛が民部官に設置されて140周年、測量法が制定されて60周年を迎えました。また、平成22年は、「国土地理院」の名称に「地理調査所」から変更して50周年の記念すべき年にあたります。

こうした機会を捉え、国土地理院の業務内容及び取り巻く情勢の変化に鑑み、CI(コーポレート・アイデンティティ)の確立のためにシンボルマークと英語名を新たに作成しました。

シンボルマークは、国土地理院の英語名の略称「GSI」をアレンジし、人が地球を測量・観測して環境保全や安全安心のために活用している姿を表現しています。

国土地理院の現英語名「Geographical Survey Institute」は、国土地理院の旧名称である「地理調査所」(昭和20年～昭和35年)を直訳したものと考えられます。

国土地理院での活動が公共測量の指導等の測量行政、防災、国際協力へと広がる中、国土地理院の役割が測量作業(Survey)自体からその結果である情報(Information)の提供や利活用に重点が移っています。

これらの活動内容をすでに包含している「国土地理院」の名称は変更しませんが、英語名を「国土地理院」及びその活動をより適切に表す「Geospatial Information Authority of Japan」に改めます。なお、対外的に日本の機関であることを示すため「Japan」を追加しました。



【シンボルマークイメージ】

地球を手で包むようにはたらきかけている形を描き、直交する線は座標を表し、色彩は「緑の大地」と「青い海と空」をイメージしています。

シンボルマークの使用は、平成22年4月1日から使用を開始します。

【現英語名】 「Geographical Survey Institute」(略称 GSI) [昭和24年使用開始]

【新英語名】 Geospatial Information Authority of Japan (略称 GSI、GeoSpatial Information)

新刊地図（北陸地方測量部管内）

2万5千分1地形図（桎判3色）

図名（読み）	地図番号	測量年・種別	刊行年月日
片貝（かたかい）	長岡 4 - 4	19年更新	H22.2.1
小平尾（おびろう）	高田 1 - 1	19年更新	H22.2.1
小千谷（おちや）	高田 1 - 3	19年更新	H22.2.1
水原（すいばら）	新潟 13 - 2	19年更新	H22.3.1
半蔵金（はんぞうがね）	長岡 4 - 2	19年更新	H22.3.1
名立大町（なだちおおまち）	高田 14 - 3	19年更新	H22.3.1
楨（まき）	高田 14 - 4	19年更新	H22.3.1
梶屋敷（かじやしき）	富山 2 - 2	19年更新	H22.3.1

数値地図25000（地図画像）

図名	刊行年月日
岐阜	H22.2.1

数値データ2kmメッシュ（ジオイド高）

図名	刊行年月日
全国	H22.4.1

人事異動（H22.4.1 官以上を掲載）

役職	旧	新	旧所属
測量課長	勝田 啓介	中野 修	地理空間情報部基盤地図情報課
地理空間情報管理官	鯉渕 浩次	服部 雄治	地理空間情報部地図情報課
防災情報管理官	丸山 一司	本川 幸夫	北陸地方測量部測量課

